

1. 小单元名 きょうどを開く「福岡大堰くぐり穴用水路」

2. ねらい

- ・福岡大堰くぐり穴用水路について進んで調べ、先人の働きや苦心に関心を持つことができる
- ・大改修工事が行われた理由を、人々の願いや生活の様子と関連させて考えることができる。
- ・地図学習や現地見学、資料集の活用等を通して先人の働きや苦心について調べ、自分なりの方法で表現することができる。
- ・大改修工事の目的や歴史を知り、新田開発や用水事業に尽くした先人の願い、努力を理解することができる。

3. 指導計画 (14時間)

段階	学 習 活 動	学 習 内 容	資料・時数
つ か む	・水神碑を見学し、地域にある石碑のなぞに興味を持つ。	・水神碑の裏を見て、どんなことが書かれているか興味・関心を持って拾い読みしてみる。	1時 水神碑 資料集No9
	・水神碑の文をもとに学習課題を作り、探検の計画を立てる。	・読める漢字をもとに、自分たちで解説してみる	(家庭学習)
		・調べてきたことを発表する。 地名、人名、用水路の長さや高さ等	1時 資料集No9
	水神碑のなぞ解きをしよう		
		・水神碑の書き下し文を使って、いつ、どこで、何のために、どんな工事をしたかを知る。	資料集No10
調 べ る	・福岡大堰くぐり穴用水路の探検をする。	・水の流れに沿って下りながら、ポイント毎に様子や発見したことをカードに記入する。 ——探検（見学）コース—— 取水口～大堰～堰元の水門～石川さん裏の狭間～吐き出し口～湧き上がり～堰添の水門～水田	3時 探検カード 資料集No6
	・見学のまとめをして、学習課題を作る。	・探検して分かったことや感想を発表する。 ・くぐり穴用水路を立体模型地図で確かめる。 ・分からなかったことやもっと知りたいことをもとに課題を作る。（課題別にグルーピング）	1時 ポイントカード 立体模型 課題カード
	・課題についてグループ毎に調べる。	・グループ毎に調べる方法や発表の仕方について相談し、計画を立てて調べる。	3時 計画カード

		調べたことを自由な方法で表現する。 (再見学が必要なグループは、もう一度見学に行ってもよい)	資料集 No10～16 テレビ番組の録画
深 め る	- 調べて分かったことを発表し、話し合う。 くぐり穴の仕組み 工事の方法 工事の苦労 人々の願い - くぐり穴用水路が何のために作られたか考える。 なぜ福岡大堰くぐり穴用水路を作ったのだろうか	- 要点を絞って聞き手に分かりやすく発表する。 - 聞き手は自分たちが調べたことと比較しながら聞く。感想をまとめ、意見を述べる。	3 時 発表メモ グループ毎 に作成した 資料
		- 地形図の色塗りから七北田川と水田との標高差に気付き、水が容易に引けないことを知る。 - 水田を開き、生活を豊かにする願いから、くぐり穴用水路を作ったことを理解する。	資料集No 5 資料集 No 2 ～ 4
ひろ げ る	現在の福岡大堰くぐり穴用水路について知る。	- くぐり穴を維持、管理してきた人々の思いについて調べる。 - 地域の一員として自分たちのできることについて考える。	1 時 堰守 V T R 資料集 No17～19

4. 作成した資料一覧

(1)「福岡大堰潜穴用水路」資料集

B 4 版 全 2 5 ページ

- No 1 ・ はじめに (学習のめあて)
- No 2 ・ 米作りと水の話
- No 4 ・ 泉地区の水田 (写真)
- No 5 ・ 地形図 (城の内・泉地区…着色用)
- No 6 ・ 大堰探検マップ・関係図
- No 8 ・ 水神碑 (写真・拓本)
- No 9 ・ 水神碑 (原文)
- No10・ 水神碑 (書き下し文)
- No11・ さま (狭間)
- No12・ サイフォン (湧き上がり)
- No13・ 昔の工事の様子 (方法)
- No14・ 昔の工事 (道具)
- No15・ くぐり穴の中 (地区の人の話)
- No16・ 南部吉助
- No17・ 用水路を守ってきた人々の話
- No18・ まとめ資料
- No20・ 写真集 (1 5 枚)

(2)くぐり穴用水路のカラースライド

見学ポイント別 1 8 枚構成

(3)「水神の碑」拓本

表・裏

(4)立体模型地図 (城の内・泉地区)

くぐり穴用水路に通水可能

(5)元・堰守の話 (V T R)

(6)掲示用パネル

- ・「水神の碑」(拓本)
- ・「探検マップ」(写真入り)
- ・城の内・泉地区の地形図 (着色)
- ・写真「大畑沢の狭間」

(7)「福岡大堰くぐり穴用水ー碑文の謎に迫る」

仙台放送テレビ製作の番組を録画